

研修医レター



和歌山県医師会

〒640-8514 和歌山市小松原通1丁目1 県民文化会館

電話(073)424-5101代 FAX(073)436-0530

E-mail: ishikai@wakayama.med.or.jp

平成27年2月発行

研修医の皆様方へ

和歌山県医師会ではこれからの日本の医療を担っていく研修医の皆様方に「医師会」という組織や、その活動の一端をお知らせし、理解して頂き、また皆様方からの素直な御意見もお聞きできれば、という双方向の関係を築く目的で「研修医レター」を発行させて頂くことになりました。その中には、女性医師の皆様へのこれからの指標になるようなコーナーもございます。

研修医の皆様を含め、多様な御意見等をお待ちしております。

もくじ

- 研修医レター
- 和歌山県医師会長あいさつ
- 卒後臨床研修センターより
- 第29回日本医学会総会関西
- 講演会等のお知らせ
- 先輩医師の体験記
- 私のワークライフバランス
- 国体うっかりドーピング
- 日本医師会女性医師バンク
- 和歌山市医師会のお知らせ
- アンケートのお知らせ

ごあいさつ

和歌山県医師会では、次代の医療を担う研修医の皆様、地域医療の重要性と我が国の医療制度に対する理解、ならびに多職種医療関係者とのつながりを深め、将来医師としての活躍の場を広めていただくため、「研修医レター」をお届けすることになりました。日本で唯一医師を代表する機関である「医師会」を身近に感じ、教科書だけでなく、広く社会を、ひとを、見つめる医師になられることを祈念しています。



和歌山県医師会
会長 寺下浩彰

研修指定病院としての特色

～和歌山県立医科大学附属病院～

医学教育はいま、大きな変化の渦の中にあります。臨床研修必修化はもちろん、医学研究の成果や新しい技術の開発に伴って学習内容は増加し、新しい取り組みが進んでいます。さて「医師」とは、いつでもどんな疾患、どんな患者さんでも診られる救急医、総合診療医であることをベースに、他に抜きん出た専門領域を持つことが重要と考えます。初期臨床研修の2年間はその目標に至る土台を築く大切な時期であると思います。一次救急から三次救急まで多くの症例を経験し、また多くの診療科の症例を受け持つことが重要です。当病院は、多くの協力病院もあり、かつそのような目的に叶う救命救急センターのある大学病院です。救急でしっかり急性期総合診療の基本を身につけ、あとは、研修医(あなた自身)の興味や希望や意欲に沿ってそれぞれの分野で成長できる、仕組みになっています。研修医と指導者間、また研修医どうしの顔の見える関係、コミュニケーションを大切にしたいと願っています。



卒後臨床研修センター
センター長 上野雅巳

第29回 日本医学会総会 2015 関西

医学と医療の革新を目指して
～健康社会を共に生きるきずなの構築～

〈学術講演〉

会期：2015年4月11日(土)～13日(月)

会場：国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都
京都大学百周年時計台記念館 ほか

公式ホームページ (<http://isoukai2015.jp/>)
から登録する方法

※「臨床研修医」の方は「卒後5年までの医師・
歯科医師」のカテゴリーでご登録ください。

参加登録区分 大学院生(医師・歯科医師)
および卒後5年までの医師・歯科医師

参加登録料 15,000円(当日登録)

事前登録(2/28まで) 10,000円



講演会等のお知らせ

平成27年

■ 泌尿器疾患 Up To Date

日時：平成27年 2月21日(土)
14:00～17:00

場所：和歌山県民文化会館 5階 大会議室

- ① 尿路結石症の診断と治療
- ② 男性の排尿障害
- ③ 女性の排尿障害について
- ④ 当院における腎移植の現状
- ⑤ 前立腺癌の診断と治療
- ⑥ 膀胱癌の診断と治療

■ 自賠責保険に関する研修会

日時：平成27年 3月14日(土)
15:30～17:30

場所：ホテルグランヴィア和歌山

参加希望の方は県医師会まで
ご連絡下さい。

先輩医師の体験記

私は産科を生業として30余年になります。毎日元気な生命の誕生をこの手に感じ、幸せに感謝しております。しかし、産科をやってる限り先天異常(奇形)を避けて通ることは許されません。

医者になって5年目、大学病院当直の夜中に産まれた赤ちゃんが「裂手」でした。ご両親にどう説明しようかと落ち込んでいた私に、先輩が「君は光明皇后を知ってるか」と。「奈良の大仏を造った聖武天皇の奥さんで、悲田院を造られた方ですよ」と答えると、大きくうなずいて「悲田院を知ってるなら医者として合格だな。その、光明子が裂手・裂足だったことは知ってるか。彼女は手足の指が2本ずつだったので鹿の生まれ変わり、鹿の精といわれたんだ。でも、その美貌と人間的魅力で当代随一の人気者となり、彼女の履いてた2本指の履物が大流行したんだよ。それが足袋だ」。続けて「彼女の産まれたところは今でも光明池という地名が残ってるよ」と。「光明池なら大学病院の隣の和泉市じゃないですか」「そうだよ、その国分寺に碑があるよ。そしてフクスケはじめ、足袋の会社がいくつもあるよ」と。

和泉市にある光明皇后誕生所の碑と、生誕地と伝えられる国分寺、室堂の森光寺も行ってみました。小さなお寺でよく手入れされていました。

その後、図書館に行って「日本には古来より奇形で生まれた子を神の使いとしてその子を産んだ母親ともども村中で手厚く育てた」という文化があることを知りました。奇形を見世物にしたり貴族のおもちゃにした西洋の文化とは雲泥の差だと感じました。何という日本人の優しさ、心の広さでしょう。

大学病院に帰って、ご両親に光明皇后のお話をさせてもらって、笑顔で「先天異常の子は、神さまが一番他人から優しくしてもらえる子として我々に授けられた子供なんです」と言うことができました。

私が産科を続けていこうと思った原点を紹介させていただきました。



花山ママクリニック
院長 井上 泰英

先輩女性医師による〈ワークライフバランス〉

～ 私の場合 ～



晒医院 院長
元大手前病院皮膚科部長
井上 千津子

私は、1974年に和歌山医大を卒業し、幸い健康にめぐまれ、産休(産前産後6週)とA型肝炎で入院した時以外は、41年間働いてきました。大学病院に10年、市中病院に24年、開業して7年です。33歳で結婚し、34歳で男の子、35歳で女の子を産みました。

私は、近くに両親がいなくて手伝いを頼めなかったのも、他人の力をたくさん借りて、育児をしてきました。掃除や料理をしてくれる人を確保しその人に子供が病気のときは頼んでいました。仕事を続けるコツは、夫に専業主婦志向の人を選ばないこと、他人に家に入ってもらうのを躊躇しないことです。完璧をめざさず、仕事も育児もゆったりとすることです。保育所に預けていれば、母親同士の連帯も生まれ、助けてもらえます。私はたまたまずっと仕事を続けてこれましたが、子供が病弱とか夫の転勤で職場を変えると、仕事をセーブするときも完全にやめてしまわずに、少しでも続けてください。私が部長をしていた時、部下でいた女医さんは、みんな優秀な人で、結婚していてもバリバリ働いてくれていたのに、子供が生まれると、仕事をやめたり、パートに変わったりしているのは、大変残念です。子供が少し大きくなったら病院に常勤で復帰してくれないかと願っています。

◆日本医師会女性医師バンク◆

日本医師会は女性医師バンクを運用しています。日本医師会の女性医師支援委員会委員(全員医師)がバンクのコーディネートを務めています。バンクにご相談、求人・求職の成立はすべて無料です。バンクは平成19年2月に開始、平成26年10月31日時点での就業実績399件、そのうちの就業件数381件、再就業紹介18件です。女性医師バンクでは、先生方からの求人・求職の条件に応じます。お気軽にご相談ください。電話番号は03-3942-6512です。

和歌山市医師会よりのお知らせ

～和歌山市医師会研修医会員について～

近年の急速な高齢化社会に伴い、医療業界全体のニーズは、Cure(医療)からCare(介護)へと変化してきています。このため、大学の先生におかれましても、地域でのプライマリー・ケア、救急医療以外に、在宅・介護などの環境状況を知る必要が生じてきました。和歌山市医師会では、昨年より新臨床研修医先生用の会員枠「和歌山市医師会研修医会員」を設けました。今後医師として活動されていく中で、地域医療との連携については避けて通れないことと思われれます。研修期間の2年間は会費無料です。ぜひこの機会にご入会していただき、和歌山市医師会の地域医療活動をご理解下さいますようお願い致します。

〈入会手順・お問い合わせ〉

和歌山市医師会事務局(073-435-5199)に「和歌山市医師会研修医会員について知りたい」とお伝えください。

和歌山市医師会 URL: <http://washii-unet.jp>

(平成27年4月アップロード予定)

お知らせ ～国体“うっかりドーピング”～

9月に「紀の国わかやま国体」が、そして10月には障害をもった方のスポーツ競技大会である「紀の国わかやま大会」が当県で開催されます。

国体などトップ選手が出場する大きな競技会では、ドーピングチェックが行われます。

感冒などの市販薬の中に、禁止薬物が入っていることがあります。選手が知らずにこれを服用して失格となること等を“うっかりドーピング”と言います。

例えば漢方薬の葛根湯、麻黄湯、小青竜湯などには、禁止薬物の「麻黄」が入っています。利尿剤も禁止薬剤ですが、降圧剤であるARBとの配合剤として含まれている場合があります。またβブロッカーなど他にもありますが、詳しくは、ネット上に公開している日本薬剤師会の「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」、日本体育協会の「使用可能薬リスト」などをご覧ください。

アンケートのお知らせ

平成27年3月末までに和歌山県医師会、和歌山県病院協会よりアンケート調査が実施されます。

対象は和歌山県内全女性医師です。働きやすい環境とその整備に関し、今後の取り組みの参考とするための調査です。ご協力をお願いします。

(文責:和歌山県医師会理事 榎本 多津子)